

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コネクト		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年1月13日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者 ・発達支援コーチ(専門的支援体制) ・保育士 ・児童指導員 ・送迎専門ドライバー 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な経験や経歴を持つ職員が日々の共有を基に連携して支援にあたっています ・平日、休日に関わらず「個」と「集団」の活動時間を設定しています ・毎回メニューの異なる「小集団活動」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の取り組みでの振り返りを実施 ・気づきや課題を全員で共有し、次に活かす実践
2	<ul style="list-style-type: none"> ・法定研修を始め、外部研修の受講 ・全職員のスキルアップ向上を狙いとした研修後の社内共有(社内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修スケジュールの提示と、受講希望の把握 ・研修にかかる費用は法人から支給しています 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修の情報収集を実施する ・職員からの要望に沿った内容の研修等の検索
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族支援」に対する姿勢と実践 ・保護者様とのコミュニケーション(連絡帳、LINE、送迎時等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「親の会」を設定し保護者様の都合の合う日程で面談ができる環境を作っております ・送迎時の保護者様とのやりとりも大切な時間ととらえ職員で共有し、支援に活かしています 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の就労等、事情を十分考慮しながらより多くの保護者様が参加できるよう配慮して参ります

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によって差異があるが、利用者様の人数や状況によって生じる指導訓練室や静養室のスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋の使い方は工夫しているが、「個」での活動時間は子どもたちが選択する活動の種類も多岐にわたるため、内容によっては難しい事もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化も含め、今後もスペースの使い方に工夫を凝らしていく ・活動の内容によっては公共の施設を活用する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援 ・家庭連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期開催の「親の会」の周知が不十分な事もありご参加いただける保護者様が限られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は現在実施している「親の会」の他にも全体向けの保護者会を企画する ・多くの保護者様に参加して頂けるよう意見や要望をいただく期間を設ける
3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での取り組みの発信・周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信のツールが少ない ・非常災害時対策や虐待防止マニュアル等の説明は行っているが、設置している事の周知が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信のツールを増やす ・取り組みや活動内容を知ってもらう機会を作る ・各種マニュアル等はいつでも見られる環境を整備し日々の保護者様とのコミュニケーションの場や保護者会等の機会でも周知を深める